

収受番号:

371

評価結果提出届（兼受理書）

（小規模多機能型居宅介護）

健康福祉局介護事業指導課 あて

（太枠内のみ記入してください。）

提出日： 令和3年 3月 23日

届出者	サービス種別 （該当に○）	○	小規模多機能型居宅介護					○	介護予防小規模多機能型居宅介護				
	事業所番号	1	4	9	1	0	0	0	2	8	5		
	事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所 こすずめの里											
	事業所所在地	（〒245 - 0063） 横浜市戸塚区原宿2-6-7											
	担当者名	管理者 大嶋 芽美											
	連絡先	電話	045（858）3322					FAX	045（858）3322				

次のとおり、資料を添えて提出します。

運営推進会議開催日			令和3年 3月 10日（文書確認）
添付書類 （チェック欄にレ）	チェック欄	✓	事業所自己評価
		✓	サービス評価総括表
		✓	返信用封筒（84円切手を貼った返信先明記の長3封筒）

（以下は記入しないでください。）

評価結果提出届を受理しました。

受理日	3年 3月 24日	実施年度	2年度
次回実施期限	4年 3月 31日		

＜次回の外部評価実施後、運営推進介護を開催した日から1か月以内に提出をしてください。＞

＜この受理書は再発行しません。＞

【発行】 横浜市健康福祉局介護事業指導課 電話 045-671-3466 FAX045-550-3615

受付担当者：

中野



小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	有限会社 リラ福祉サービス	代表者	代表取締役 馬場 世津	法人・ 事業所 の特徴	住み慣れた地域での生活が継続できるよう、柔軟な対応で一人ひとりの暮らしを支援しています。地域行事への参加や、ボランティアの訪問により音楽会や獅子舞等を定期的に開催し地域住民との交流を図り、本人の暮らしを支援しています。 法人は有限会社リラ福祉サービスの経営で、グループホーム、有料老人ホーム、デイサービス、サードサービス付き高齢者住宅、居宅介護支援、訪問介護、訪問看護、福祉用具等々、多岐にわたり法人理念に基づいた施設運営を行っています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 事業所 こすずめの里	管理者	大嶋 芽美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	(文書確認) 2 人	(文書確認) 5 人	(文書確認) 1 人	(文書確認) 1 人	(文書確認) 1 人	人	2 人	(文書確認) 1 人	11 人

項 目	前回の改善計画		今回の改善計画	
A. 事業所自己評価の確認	自信をもって、自己評価に取り組む。	前回の改善計画に対する取り組み・結果 自己評価の捉え方も年々前向きになっていく。コロナ禍でじっくり取り組めなかった経緯もあるが、短期間で集中して自身を振り返ることができた。	意見 全ての常勤職員の参加が確認できた。サービスを良くしようとしているのが解かり安心できる。具体的な施設の取り組みができている。	事業所の自己評価についての会議期間を見直し、より多くの職員の意見が反映できる環境を整える。
B. 事業所のしつらえ・環境	定期的な換気・消毒を行い、衛生保持に努める。	定期的な換気を頻繁に行った。また、消毒は表で管理し（建物内・車中・備品）毎日全ての消毒を行った。	消毒を頻繁に行っているし、嫌な臭いもない。夜間防犯対策も考慮しながら運営できていると思う。コロナ感染の危機感を持ち、利用者・職員への気遣いをしてほしい。	新型コロナウイルス感染症について深く学び、更なる感染予防に事業所全体で取り組む。
C. 事業所と地域のかかわり	多くの地域住民と交流できるよう、イベントへの参加をサポートする。	コロナによる影響でイベントが中止となり、地域住民との交流が図れなかった。	イベントに参加できなかつたのは、コロナ禍が収束すれば解決すると思う。困りごとがあつた時に、相談にのってもらいすぐに対応してくれ助かった。	新型コロナウイルスの感染状況をみながら、地域住民との交流をサポートしていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	シニアボランティア登録事業所ということ幅広く知ってもらい、更なるレクリエーションの充実を目指す。	コロナの感染拡大防止に配慮し、ボランティアの受入れを自粛し、イベントを中止せざる得なかつた。	コロナで厳しい環境下、行事への参加ができていないのはやむを得ない。様々な工夫をしながら利用者の対応をしていて、できる範囲で行われている。	新型コロナウイルスに対する感染防止策を十分にとった上で、コロナの状況をみながら地域イベントや防災訓練等に参加する。

E. 運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議を通し、地域情報を共有し詐欺被害予防に努める。	コロナ禍により対面での運営推進会議は開催できなかった。民生委員が、度々事業所に寄ってくださり情報共有を行い、コロナ禍ならではの詐欺被害予防に努めた。 (高額マスク等の訪問販売等)	コロナ禍により対面での運営推進会議が対面でできない中で、何かあれば電話や手紙で連絡をもらい改善されていると思う。現状報告書は、詳しく記載が必要である。	運営推進会議を開催し、コロナ禍における事例検討を行い事業所の運営改善に繋げる。
F. 事業所の防災・災害対策	災害時における消毒液・マスク等の備蓄品を見直す。	消毒液・マスク（サージカルN95）・ガウン・フェイスシールド・グローブの備蓄量を見直し、十分な量を追加で確保した。	緊急時対応は日頃から取組んでいていざという時に事業所は頼りになる。備蓄品の備えが大変の中、できる範囲での努力が行われ良くできていると思う。	地域住民との防災訓練をコロナの状況を見ながら再開する。再開できない場合においても、事業所の防災訓練を継続し、いざという時に備える。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年2月17・18・19日 (16:00～17:30)
1. 初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	常勤（大嶋・千葉・今泉・野村・菅原・平塚・森住）7名 非常勤（石飛・佐藤ト・元島・佐藤信・小澤・工藤・西野・齊藤・山岸）9名 合計16名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	11人	9人	人	人	20人

前回の改善計画	ケアの優先順位を間違えないよう、サービスに入る前に最新情報を把握する。
前回の改善計画に対する取組み結果	ケアに入る前に、連絡事項を確認するよう統一した。それにより、職員間の把握にバラつきが減り利用者の安心に繋ぐことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	12	8			20
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	11	9			20
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	10	10			20
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	8	12			20

できている点	・家族の生活スタイルを把握し、必要な支援方法を見出すことに努めた。 ・不安を受止め、アセスメントに十分時間をかけたことで、まず必要とされる支援が検討できた。 ・通いサービスでは利用者の間に入り、対応職員をできる範囲で固定し不安軽減に努めた。 ・初回訪問サービスは、本人と会話することから入り距離感を大事にしながら信頼関係作りを優先した。 ・研修等を通し、本人の好み等を把握しスムーズな会話ができた。 ・初期の夜間は特に不安なため、普段と同じ就寝スタイルで個別対応した。
--------	---

できていない点	・メモを取ることを怠ったため見落としをしまい、訪問サービスで行う支援が抜けたことがある。 ・その人に会った声掛けに捉われすぎ、積極的に関われず不安にさせてしまった。 ・利用者との関係性が上手く気づけず、訪問をスムーズに受け入れてもらえないケースがあった。（いろいろ試したが、本人にとって良い策を見出すことができなかった） ・本人に気を取られすぎ、家族の困りごとに気づくのが遅れた。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	受入れが困難なケースの様々な事例を検討し、初期の関り方を学ぶ。
---------------	---------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年2月17・18・19日(16:00～17:30)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 常勤(大嶋・千葉・今泉・野村・菅原・平塚・森住)7名
非常勤(石飛・佐藤ト・元島・佐藤信・小澤・工藤・西野・
齊藤・山岸)9名
合計16名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	11人	9人	人	人	20人

前回の改善計画	職員間のコミュニケーションを更に深め、本人が満足できる支援に繋げていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	数字が好きなことに注目して、数字を合わせるパズルを取り入れたところ、毎日積極的に楽しんで取組み満足できる支援に繋がった。また、将棋やオセロ等、個別対応できる時間をスタッフで連携しながら確保することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	5	12	3		20
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	6	11	3		20
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	6	11	3		20
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	11	7	2		20

できている点	・目標を把握し、自己実現できるケアを事業所として取り組んだ。 ・関わりの中から気づいたことを声にあげ、適切な支援に繋ぐことができた(訪看・ごみ収集導入等) ・本人の希望に沿い、訪問内容を定めずその時必要な支援を柔軟に行った。 ・本人が望むレクリエーション(将棋)を個別で行った。また、好みの飲物を提供している。 ・トイレに行きたいと上手く伝えられない人の行動やしぐさに注意して、誘導・介助ができた。 ・シャワー浴から普通浴への移行のタイミングが、日々の関りの中から知ることができた。 ・宿泊の際に、事業所の就寝時間に捉われず個々の生活スタイルにあった対応をしている。
--------	---

できていない点	・本人と家族の希望に違いが大きく、様々な手段を講じたが拒否が増し難しくなるケースがあった。(本人→入浴は自宅で行っているの必要ない/家族→入浴できていないので入浴してほしい) ・本人ができることでも、そのやる気を出させることが難しかった。上手くできているスタッフもいて、見習っているつもりだが難しい。 ・勤務浅く、全員の目標は把握できていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	やる気を出してもらう方法を職員間で話し合い、全体で共有しケアにあたる。
---------------	-------------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	令和3年2月17・18・19日（16:00～17:30）
-----	------------------------------

3. 日常生活の支援

メンバー	常勤（大嶋・千葉・今泉・野村・菅原・平塚・森住）7名 非常勤（石飛・佐藤ト・元島・佐藤信・小澤・工藤・西野・齊藤・山岸）9名 合計16名
------	--

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	12人	8人	人	人	20人

前回の改善計画	
メモをとる習慣を身につけ、状態変化の共有を徹底する。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
最初の頃は忘れることもしばしば見られたが、習慣化することで自然とメモをとる行為が身についた。また、メモを取ることでいつでも各自で確認でき業務がスムーズに行えた。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	4	8	7	1	20
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	11	9			20
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	13	5	2		20
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	14	6			20
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	13	5	2		20

できている点	
・ 普段の暮らしを把握し、自宅での必要な支援に重点を置いたケアに努めた（宅配弁当等サポート） ・ 訪問サービスの際も、できる部分の掃除は行ってもらい、できない部分の自立支援に努めた。 ・ 1日1回の訪問にこだわらず、適切な回数訪問に入り支援できた（排泄・内服等）。 ・ 自分で内服できる人に対し、電話で声掛けを行いできる能力も維持しつつ内服サポートもできた。 ・ 急な体調不調時に、即時に通院同行を行い支援できた。 ・ トイレ介助時に、立てる時とそうでない時があり、状態を見極め自分で行ってもらい自立を促した。 ・ 排泄の訴えがない人でも、態度や表情からタイミングをつかみケアにあたった。	

できていない点	
・ 以前の暮らし方を聞き取るも、認知症が強いと毎回変わり見極めに苦労した。 ・ 気持ちの変化は明らかに見えるものではなく、努力不足もあるが気づきが遅くなる。 ・ トイレの訴えが少なかったがバイタル異常がなく不調の前触れだと気づけず、対応が遅れたことがあった。 ・ 業務的に利用者との関わりが少ないこともあり、声にならない声に気づくのが苦手だ。	

次回までの具体的な改善計画	
普段と不調時の変化の違いをよく観察し、不調の早期発見に努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年2月17・18・19日（16：00～17：30）

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 常勤（大嶋・千葉・今泉・野村・菅原・平塚・森住）7名
非常勤（石飛・佐藤ト・元島・佐藤信・小澤・工藤・西野・
齊藤・山岸）9名
合計16名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	6人	13人	1人	人	20人

前回の改善計画	本人と家族の関りが薄れることがないよう、本人と関わる距離感を見直していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	独居利用者の訪問先で不足品があった際は、事業所から家族へ依頼するのではなく、本人から直接家族へ連絡をとってもらい、家族との繋がりがもてるよう対応した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	11	8		1	20
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	12	4	4		20
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	12	7	1		20
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	13	6	1		20

できている点	・独居で金銭管理が難しくなった人に対し、成年後見制度を活用できるようケアプラザへ繋ぎ、本人が望む“自宅での暮らし”を続けることができた。 ・隣人の協力を得ながら、新しい洗濯機を正しく使えるようになった。 ・馴染みの美容院や病院に通えるように、送迎等を行っている。 ・入浴時のリラックスしている時に話を伺うと、自宅での細かい様子まで把握できた。 ・地域資源を活用している（ゴミ収集・見つけてネット等） ・普段の起床や就寝時間を把握し、宿泊サービス中も自宅と同様のスタイルを尊重できた。
--------	--

できていない点	・新型コロナウイルスの影響により、毎年恒例であったイベント（小学生との交流会・音楽会等）が中止となり、地域へ出かけることが難しかった。 ・新型コロナウイルスの影響により、事業所のイベント（獅子舞・箱根駅伝・音楽会等）の開催が中止となり、定期的な地域住民との交流が持てなかった。 ・勤務浅く、人間関係を理解するまでに至っていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	新型コロナウイルスの状況をみながらイベントを再開し、地域住民との交流を復活させる。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年2月17・18・19日（16:00～17:30）

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 常勤（大嶋・千葉・今泉・野村・菅原・平塚・森住）7名
非常勤（石飛・佐藤ト・元島・佐藤信・小澤・工藤・西野・
齊藤・山岸）9名
合計16名

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	6人	14人	人	人	20人

前回の改善計画	“自立を目指す気力”を引き出せるよう、声掛けの仕方を工夫する。
前回の改善計画に対する取り組み結果	体調や気持ちの状態によって、できる時とそうでない時を見極めることに重点を置いた。タイミングを誤った時もあったがそれを共有することで良いタイミングを知り、やる気を引出すような声掛けができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	13	7			20
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	16	4			20
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	13	7			20
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	10	9	1		20

できている点	・訪問回数に捉われず、本人にとって必要な支援に努めた。（排泄・内服介助で、毎日2回訪問等） ・電話で内服確認等を行い、訪問しなくても必要な部分の支援ができた。 ・急な体調不調時で、家族が対応できない場合に即時にスタッフが受診同行し対応した。 ・困難なことはケアプラザへ相談し、ゴミ収集や宅配弁当の地域資源の利用もサポートしている。 ・コロナ禍で病院受診が困難な時も、薬だけ代行で取りに行き届けた。 ・現場で変化をリーダーにあげ、リーダーがケアマネにあげるようになっていて情報共有できている。 ・急な宿泊依頼でも、利用者の状態によって受入れ対応した。
--------	--

できていない点	・本人と家族のニーズの差が激しく、ニーズに合ったサービスが提供できない期間が出る場合もあった。 ・本人のニーズが多すぎて、どれが本当のニーズが解からなくなる時がある。 ・できないことは介助が必要なが多く、できることよりできないことに目がいきがちになり、気づきの比重が偏ってしまう。 ・自力で更衣ができるが行おうとしない時もあり、声掛けのタイミングを誤った時があった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	広い視野で、良い変化と悪い変化の双方に気づけるよう努める。
---------------	-------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年2月17・18・19日(16:00~17:30)

6. 連携・協働

メンバー 常勤(大嶋・千葉・今泉・野村・菅原・平塚・森住)7名
非常勤(石飛・佐藤ト・元島・佐藤信・小澤・工藤・西野・齊藤・山岸)9名
合計16名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	15人	1人	1人	20人

前回の改善計画	短時間でも外部イベントに参加できる体制を整える。
前回の改善計画に対する取組み結果	新型コロナウイルスの流行により、イベントに参加できる体制は整っていたが、イベントが中止となり参加できなかった。コロナ禍が落ち着いたら、積極的に参加したい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	13	7			20
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	4	14	2		20
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?		4	8	8	20
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	1	6	12	20

できている点	・往診が必要な人に対し医療機関と連携し、往診・訪問看護へ繋ぎ必要な支援ができた。 ・ケアプラザと連携し、協働しながら後見人をつけることができた。 ・自宅での生活が困難となった場合には、入所先を家族と一緒に探し必要なサポートを行った。 ・居宅支援からの依頼で、短期利用居宅介護の宿泊サービスの受入れを行った。 ・コロナで会議等が中止となっても、民生委員が定期的に顔を出してくれた。 ・会議には、管理者やケアマネが事業所の代表として参加している。 ・ケアマネがサービス担当者会議を行い、他事業所の参加もできている。
--------	---

できていない点	・コロナ禍により横浜市小規模多機能連絡会が中止となり、会議に参加できなかった。 ・コロナ禍の影響もあり、地域住民の訪問はほとんどなかった。 ・消防訓練も中止となり、毎年参加していたが参加できなかった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	地域活動やイベントに、コロナ対策を十分にとって参加する。
---------------	------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年2月17・18・19日(16:00～17:30)
7. 運営	メンバー	常勤(大嶋・千葉・今泉・野村・菅原・平塚・森住)7名 非常勤(石飛・佐藤ト・元島・佐藤信・小澤・工藤・西野・ 齊藤・山岸)9名 合計16名

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7人	11人	1人	1人	20人

前回の改善計画	意見を募る際は新人から聞き、誰もが発言しやすい職場環境作りに努める。
前回の改善計画に対する取り組み結果	研修の際には、新人から順に聞き全員が一言でもいいので話してもらい、全体からの意見を聞くことができた。また、新人が質問しやすいように、ベテランからさりげなく業務確認を行うよう声掛けを行った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	12	7		1	20
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	16	4			20
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	13	6	1		20
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	1	9	10		20

できている点	・運営推進会議を対面で行うことはできなかったが、コロナ禍での困難なことに気づきが多かった。 ・気づきは、どの立場からでもすぐに声に上げるよう努め、即時的な対応ができた。 ・小さなことであっても、苦情は期間をあげずに話し合いすぐに対応している。 ・ホワイトボードにタイムスケジュールを解かりやすく記載し、どの職員でも把握することができ、サービスに支障がでることのないよう努めている。 ・行政や地域の方々からコロナについて助言をいただき、コロナ対策に努めた。 ・忘れ物をした際にすぐにお届けし、次回そのようなことがないよう荷物のダブルチェックを行った。
--------	---

できていない点	・運営推進会議が対面で行えず、地域の生の声を聴くことができなかった。 ・送迎時に、駐車位置の配慮に欠けすぐに謝罪したが、立去られてしまわれ十分な対応ができなかった。 ・集合住宅の駐車スペースで注意貼紙を受け、その内容と対応が連絡事項に記載されていたのに見落としてしまい再度注意を受けてしまった。 ・勤務浅く、質問で精一杯で意見までには至らない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	苦情の対応方法を、全職員へ確実に伝わっているかを確認する。
---------------	-------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年2月17・18・19日（16：00～17：30）

8. 質を向上するための取組み

メンバー 常勤（大嶋・千葉・今泉・野村・菅原・平塚・森住）7名
非常勤（石飛・佐藤ト・元島・佐藤信・小澤・工藤・西野・齊藤・山岸）9名
合計16名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⑦	前回の課題について取り組みましたか？	8人	12人	人	人	20人

前回の改善計画	研修での学びを実践できるよう、支援方法を具体的に示す。
前回の改善計画に対する取組み結果	認知症ケアの学びより、財布がないと訴えたときは一緒に探し、徘徊時には外へ一緒に散歩に行き、幻覚に対しては、本人は実際に聞こえたり見えたりしているため否定せず受止め対応できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	16	4			20
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	9	11			20
③	地域連絡会に参加していますか	5	8	6	1	20
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	14	5	1		20

できている点	・新型コロナウイルスの研修会に積極的に参加した。 ・ケアプラザで開催された研修会に参加し、事業所の質の向上に努めた（ケアマネ参加）。 ・事故やヒヤリハットを記録し、検討を行い再発防止に取り組んだ。 ・ヒヤリと思ったことは、即時に声掛けし危険を回避できるよう知らせることができた。 ・内部研修の期間を長く設け、少人数に分け行い研修を継続できた。 ・外部研修が中止となったが動画配信を利用したことで、より研修内容が充実した。
--------	---

できていない点	・コロナに関する感染予防対策のマニュアルは策定できているが、発生時の業務継続計画の策定がまだできていない。 ・コロナにより外部研修自体が減り、外部研修には参加できなかった。 ・体力的に外部研修への参加は難しい。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	新型コロナウイルス感染症発生時の業務継続計画を策定する。
---------------	------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年2月17・18・19日(16:00~17:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 常勤(大嶋・千葉・今泉・野村・菅原・平塚・森住)7名
非常勤(石飛・佐藤ト・元島・佐藤信・小澤・工藤・西野・
齊藤・山岸)9名
合計16名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7人	12人	1人	人	20人

前回の改善計画	
会話場所・音量に気を配り、個人情報の漏洩防止に努める。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
個人名を出さずに、必要な情報交換を行うよう努めた。また、声が大きくなりがちの傾向が見られたため、互いに注意するよう取り組んだ。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	20				20
②	虐待は行われていない	20				20
③	プライバシーが守られている	14	5	1		20
④	必要な方に成年後見制度を活用している	19	1			20
⑤	適正な個人情報の管理ができている	9	9	2		20

できている点	
- 個人情報保護の研修を行い、適切な個人情報の取り扱い方について再確認できた。 - 本人が財産管理を行うことが難しく、判断能力が不十分な場合に後見制度の利用に繋いだ。 - 宿泊室は全て個室で、プライバシーに配慮されている。 - 身体拘束は行っていない。正しい知識で身体拘束ゼロに取り組んでいる。 - 虐待について毎年確認し、身体的虐待以外にも把握できている。 - トイレ介助の際は、プライバシーを保てるようさりげなく誘導している。 - 一人夜勤のため、倫理観を持って業務にあたりその人を尊重した言葉遣いに努めている。	

できていない点	
- 同じフロアで互いに違うことをして過ごすことが多くプライバシーを保つのが難しい時がある。 - 他の人に呼ばれた際に、個人情報がかかれた記録をテーブルに置き忘れたことがあった。 - フロアで話していたことが、個人情報だったことに後から気づいた。	

次回までの具体的な改善計画	
記録をテーブルに置き忘れないよう、互いに声を掛けあう。	